

2016年9月29日

各位

オリックス不動産株式会社



GOOD DESIGN AWARD 2016

**分譲マンション「ひばりが丘フィールズ」
及びエリアマネジメント「まちなわ ひばりが丘」
2016年度グッドデザイン賞を受賞**

オリックス不動産株式会社(本社:東京都港区、社長:松本 哲男、以下「オリックス不動産」)は、分譲マンション「ひばりが丘フィールズ」及びエリアマネジメント「まちなわ ひばりが丘」が、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2016年度グッドデザイン賞」を受賞しましたので、お知らせします。

■ 2016年度グッドデザイン賞受賞商品

受賞部門	商品・プロジェクト名	会社名
住宅・住空間	【商品】 分譲マンション 「ひばりが丘フィールズ」※1 (1番街・2番街・けやき通り)	オリックス不動産株式会社 大和ハウス工業株式会社 株式会社コスモスイニシア
地域・コミュニティ づくり/社会貢献活動	【プロジェクト】 エリアマネジメント 「まちなわ ひばりが丘」※2	一般社団法人まちなわ ひばりが丘 大和ハウス工業株式会社 住友不動産株式会社 株式会社コスモスイニシア オリックス不動産株式会社 独立行政法人都市再生機構 HITOTOWA INC.

※1.当商品は、当社を含む3社の共同開発事業になります。

※2.当プロジェクトは、一般社団法人まちなわ ひばりが丘を主体とする7社の共同プロジェクトになります。

●グッドデザイン賞について

グッドデザイン賞は、1957年に創設されたグッドデザイン商品選定制度を発端とする日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。これまで約60年にわたって、デザインを通じて日本の産業や生活文化を向上させる運動として展開されており、現在受賞件数は約●件に及び、今日では国内外の多くの企業や団体が参加しています。グッドデザイン賞受賞のシンボルである「Gマーク」は、優れたデザインを示すシンボルマークとして広く親しまれています。

■グッドデザイン賞公式WEBサイト URL: www.g-mark.org/

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

オリックス株式会社 グループ広報部 永井・松川・上園

TEL:03-5418-4313

住宅・住空間部門受賞

●分譲マンション「ひばりが丘フィールズ」(1番街・2番街・けやき通り)

オリックス不動産株式会社・大和ハウス工業株式会社・株式会社コスモスイニシア

◎「ひばりが丘フィールズ」受賞評価コメント

1960年頃に開発された首都圏大規模団地の再生を、PPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)手法により実現する挑戦的な事業の一翼を担う建替え民間マンションの事例。PPPの他の事業パートナーとの連携によるエリアマネジメントやランドスケープデザインを含む計画内容が特徴的であり、この点が特に評価された。

「ひばりが丘フィールズ」

URL : <https://www.daiwahouse.co.jp/mansion/kanto/tokyo/hibarigaoka/>

地域・コミュニティづくり／社会貢献活動部門受賞

●エリアマネジメント「まちなわ ひばりが丘」

一般社団法人まちなわ ひばりが丘・大和ハウス工業株式会社・住友不動産株式会社・株式会社コスモスイニシア・オリックス不動産株式会社・独立行政法人都市再生機構・HITOTOWA INC.

「ひばりが丘フィールズ」は、1959年に建設された首都圏初の大規模団地「ひばりが丘団地」の団地再生事業の一環として建てられた分譲マンションで、日本初の「事業パートナー方式によるPPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)手法」を取り入れました。

当再生事業では、コミュニティスペースやカフェ、共同菜園、カーシェアリングを備えたエリアマネジメントセンター「ひばりテラス118」※3や保育施設、公園などを設けました。これらの施設利用者のコミュニティがつながる配置計画の策定や、継続的に地域のエリアマネジメントに関与することで、ハードとソフトが一体となった開発を行いました。また、「ひばりテラス118」には、一般社団法人「まちなわ ひばりが丘」の専門スタッフが常駐し、施設の運営やイベントの開催など、さまざまな活動をサポートしています。

「まちなわ ひばりが丘」は、2020年にはエリアマネジメント全体を住民主導へ移管し、住民のみなさまが住民同士でまちをつくる未来を目指します。

◎「まちなわ ひばりが丘」受賞評価コメント

日本住宅公団が1959年に造成した大規模団地の住民参加型の再生プロジェクトを、大手デベロッパー4社とUR都市再生機構が連携して、持続性のある取り組みとして展開していることを高く評価した。老朽化したテラスハウスをリノベーションして、カフェや集会所のある

「ひばりテラス118」を開設。そこでの収益がプロジェクトの持続性を高めている。共同農園づくりやカーシェア、各種イベントや雑誌づくりなどきめ細やかに行われていて、今後、こうした取り組みに住民からボランティアとして募った「まちなわ師」がどれだけ主体的に貢献していくか、その仕組み作りに期待したい。

「まちなわ ひばりが丘」

URL : <http://machiniwa-hibari.org/>



「ひばりが丘フィールズ」外観



「まちなわ ひばりが丘」イベントの様子